

西北保健所身障者用トイレ改修工事

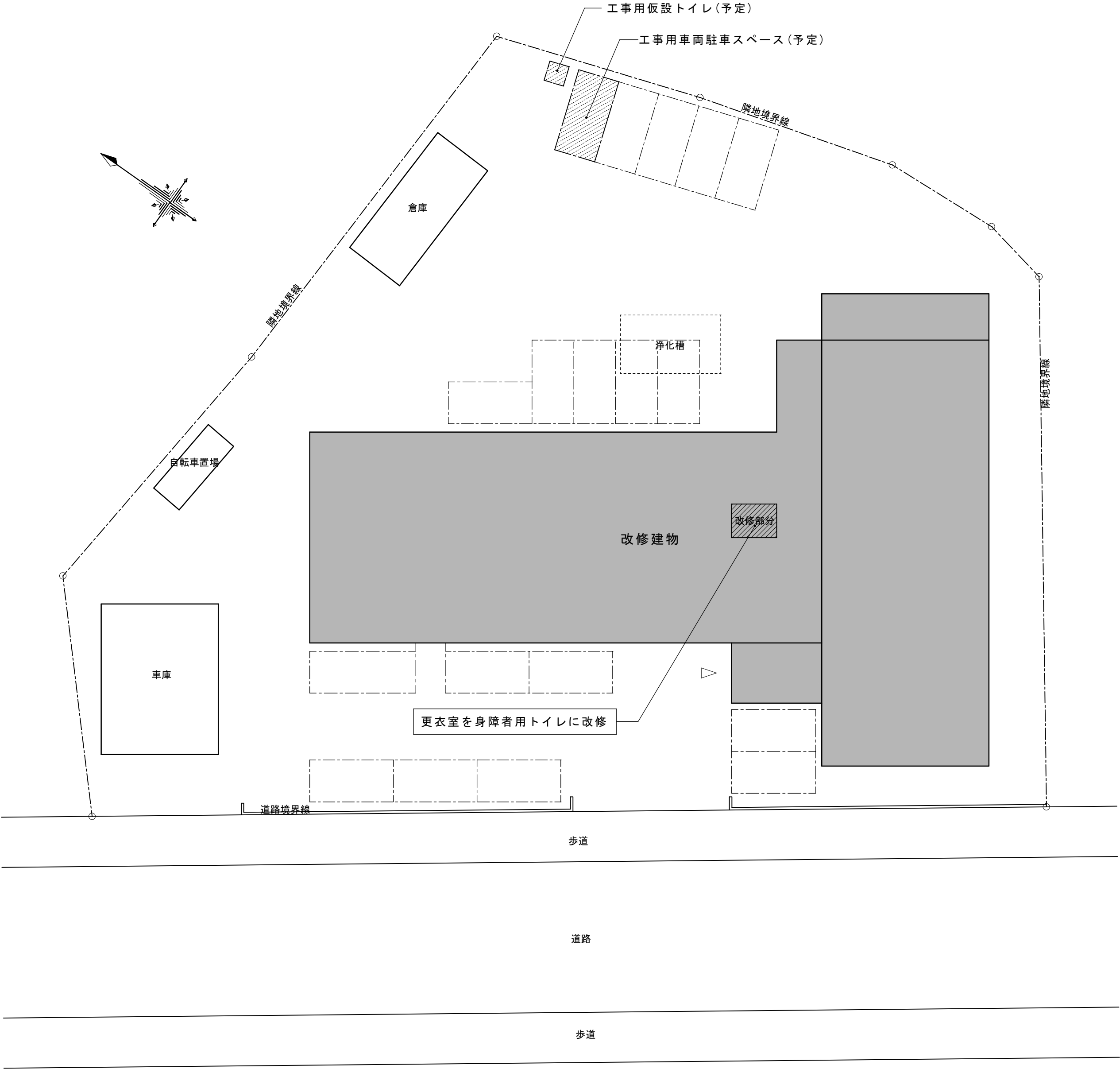
設 計 図

I N D E X					
A 建 築		E 電 気		M 機 械	
A－0 0	表紙・インディックス	E－0 1	電気設備特記仕様書	M－0 1	機械設備改修工事特記仕様書(1)
0 1	建築工事 改修特記仕様書－1	0 2	撤去・改設 電灯分岐配線図	0 2	機械設備改修工事特記仕様書(2)
0 2	建築工事 改修特記仕様書－2	0 3	電灯幹線・コンセント分岐配線図、電源盤単線結線図	0 3	案内図・配置図
0 3	建築工事 改修特記仕様書－3	0 4	誘導支援設備配線図	0 4	暖房・換気設備 機器表・平面図（改修前・後）
0 4	建築工事 改修特記仕様書－4			0 5	衛生設備 器具表・平面図（改修前・後）
0 5	案内図・配置図				
0 6	平面図・東側立面図				
0 7	工事概要・内部仕上表・フローチャート・使用材料程度				
0 8	改修前詳細図				
0 9	改修後詳細図				
1 0	建具表・展開図・開口補強施工要領				

[illegible]

[illegible]

[illegible]



配置図 S=1/200

受注者の休憩室等仮設物の設置予定場所敷地内確保



案内図

KKDN 建築デザイン事務所

事務所登録番号 A 1 第 5 6 4 号

一級建築士登録番号 1 2 3 0 5 6 号 今 慎 次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

承認	設計	担当	

縮 尺

A 2 : 1 / 2 0 0

設計年月日

R 0 7 . 0 9

工事名称

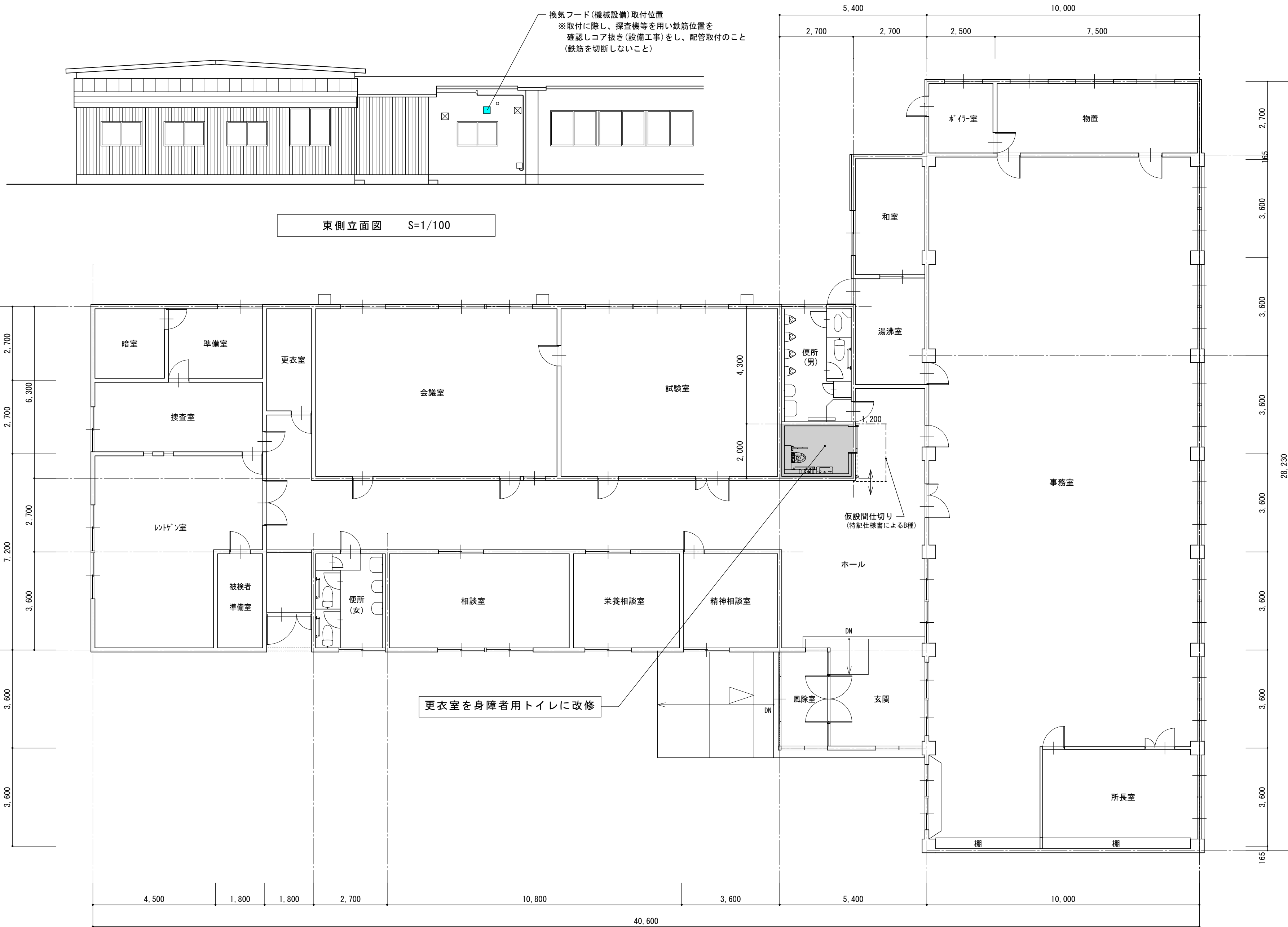
西北保健所身障者用トイレ改修工事

図面名称

案内図・配置図

A - 0 5

No.

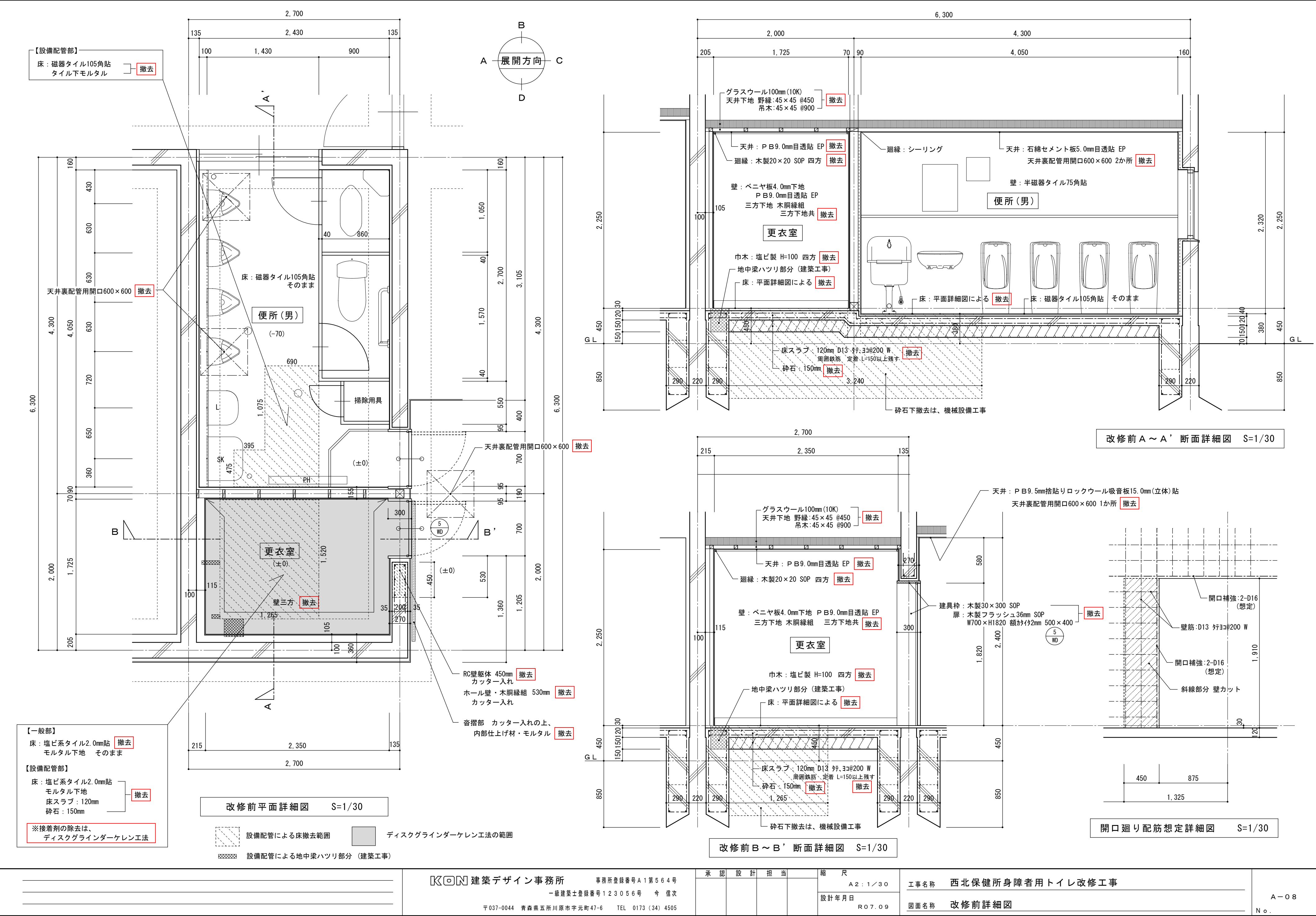


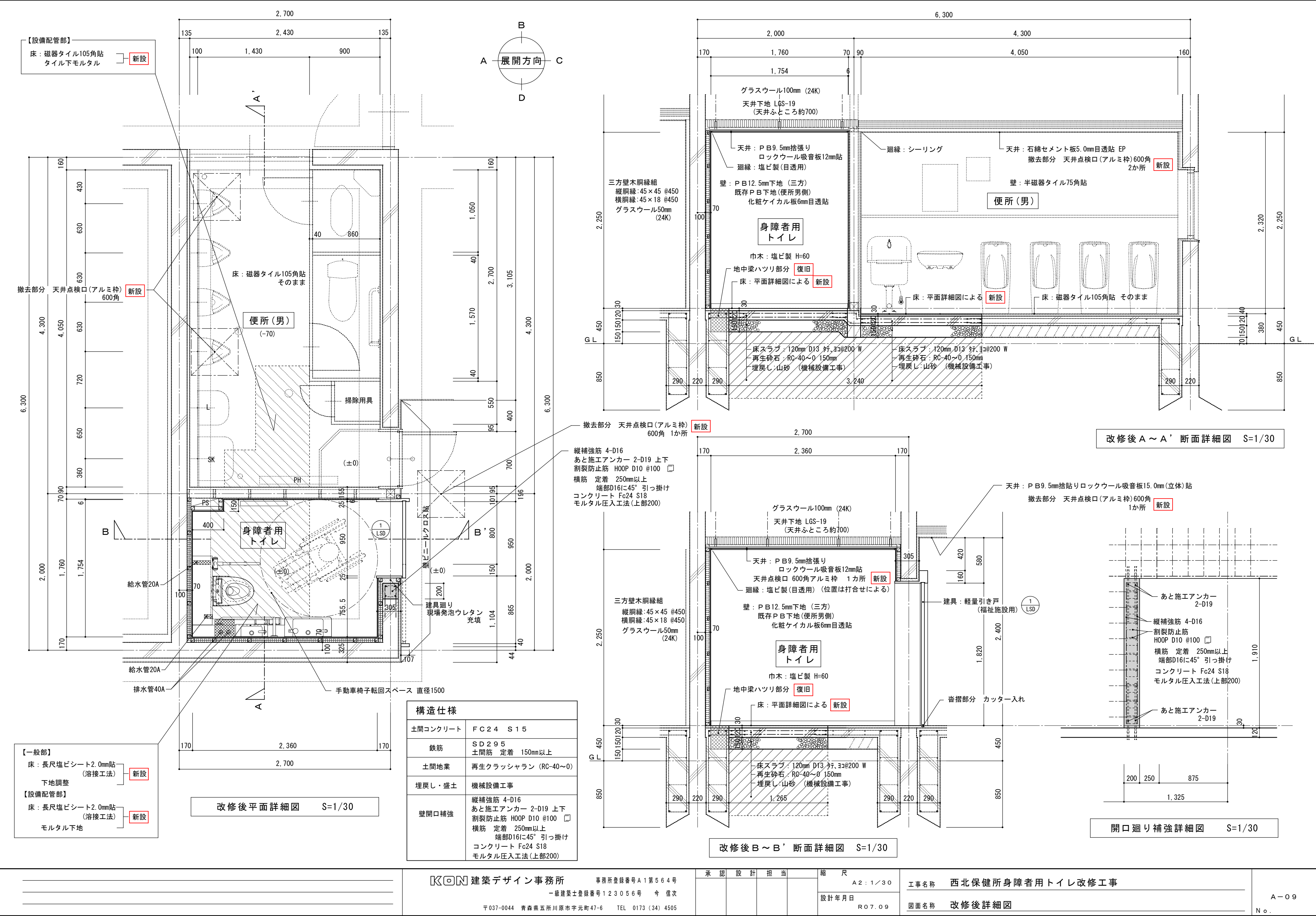
工事概要					
1. 共通仮設	石綿含有調査：更衣室床Pタイルの材料及び接着剤の定性分析（1か所）		5. 塗装改修工事	男子便所天井点検口 新設石綿セメント板 素地ごしらえ(B種)の上、 E P 合成樹脂エポキシペイント塗(B種)	
2. 直接仮設工事	工事のための 墨出し、養生、整理清掃後片付け、仕上足場、仮設材運搬		6. 電気設備改修工事	電気設備設計図による 照明器具LED化	
	仮設間仕切り：執務並行改修によるホール動線確保のための仕切り		7. 機械設備改修工事	機械設備設計図による 給排水設備工事 換気設備工事 暖房設備工事	
3. 建具改修工事	車椅子対応の自閉式上吊り引き戸 有効幅800 に取り換え		みなし石綿含有材	1. 更衣室壁・天井 P B E P → P B材 塗装下地調整材	
4. 内装改修工事	撤去 R C壁側三方の壁(下地共)及び天井(GW・下地共)、建具拡張に伴うR C壁 床の仕上げ材・一部土間コンクリート、砕石 (砕石下土工事は機械設備工事)			2. 更衣室床塩ビ系タイル → 床材 下地接着材 石綿含有調査対象仕上げ材	
	改修 撤去R C壁の補強、壁・天井のやり替え(下地仕上げ共) 遮音工事 撤去土間の復旧、床の仕上げ 天井点検口新設 P S 新設			3. ホール壁・便所天井 石綿セメント板 → 石綿セメント板 塗装下地調整材	
	ホール側 壁ビニールクロス貼 (新設部、既存部下地調整) ホール側天井点検口新設 R C壁の建具周り部分撤去及び開口補強		4. 更衣室・ホール巾木 → 巾木材 下地接着材		
			石綿の事前調査結果報告	「石綿の事前調査結果の報告」を施工業者(元請事業者)が作成提出する	

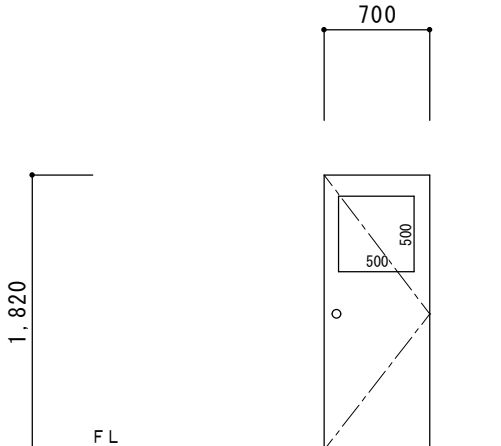
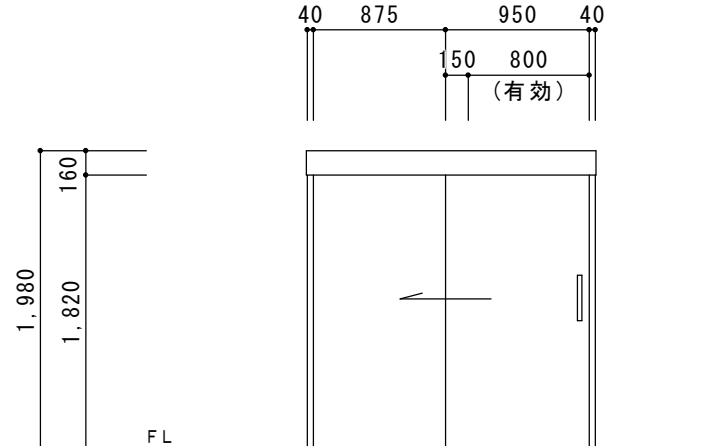
内部仕上表							
室	部位	改修前			改修後		
更衣室 ↓ 身障者用トイレ	床	【一般部】 床：塩ビ系タイル2.0mm貼 撤去 モルタル下地 そのまま ※接着剤の除去は、ディスクグラインダーケレン工法 【一般部】も【設備配管部】も共通			【設備配管部】 床スラブ：120mm D13 ﾀｲ.ｺｺ@200 W 周囲鉄筋 定着 L=150以上残す 砕石：150mm		
	巾木	巾木：塩ビ製 H=100 四方 撤去			巾木：塩ビ製 H=60 四方 新設		
	壁	【RC壁側】 壁：ベニヤ板4.0mm下地 P B9.0mm目透貼 EP 撤去 三方下地 木胴縁組 RC壁：有筋コンクリート カッター入れの上 撤去 既存横筋D13 定着 L=250以上残す			【木軸壁側】 壁：ベニヤ板4.0mm下地 P B9.0mm目透貼 EP そのまま		
	建具	建具枠：木製30×300 SOP 扉：木製フラッシュ36mm SOP W700×H1820 額かけ4mm 500角 撤去			建具：軽量引き戸(自閉式上吊り引き戸) スチール常温塗装 W950(有効800)×H1820 (セミアタイトタイプ) 新設 沓摺部分 カッター入れ		
	天井	天井：P B9.0mm目透貼 EP 撤去 グラスウール100mm(10K) 天井下地 野縁：45×45 @450 吊木：45×45 @900 撤去			天井：P B9.5mm捨貼りロックウール吸音板12.0mm(平)貼 新設 天井点検口(アルミ枠)600角		
廻り縁	廻縁：木製20×20 SOP 四方 撤去			廻縁：塩ビ製(目透し用) 四方 新設			
便所	床	【設備配管部】 床：磁器タイル105角貼 タイル下モルタル 撤去			【設備配管部】 床スラブ：120mm D13 ﾀｲ.ｺｺ@200 W 周囲鉄筋 定着 L=150以上残す 砕石：150mm 床土間下GL-700		
	天井	【設備配管部】 天井：石綿セメント板5.0mm目透貼 EP 天井裏配管用開口600×600 2か所 撤去			【設備配管部】 天井点検口：石綿セメント板5.0mm目透貼 EP 新設 撤去部分 天井点検口(アルミ枠)600角 2か所 新設		
ホール	床 巾木	軽量引き戸 沓摺部 カッター入れ の上、沓摺部モルタル 撤去 巾木：塩ビ製 H=100 通り 撤去			沓摺部取合い：シーリング処理 巾木：塩ビ製 H=100 通り 張り替え		
	壁	【更衣室建具周り壁】 壁：ベニヤ板4.0mm下地 石綿セメント板5.0mm貼 OP 撤去 下地 木胴縁組			【建具通りその他壁】 壁：ベニヤ板4.0mm下地 石綿セメント板5.0mm貼 OP そのまま 下地 木胴縁組		
	天井	天井：P B9.5mm捨貼りロックウール吸音板15.0mm(立体)貼 天井裏配管用開口600×600 1か所 撤去			天井点検口：P B9.5mm捨貼りロックウール吸音板15.0mm(立体)貼 新設 撤去部分 天井点検口(アルミ枠)600角 1か所 新設		

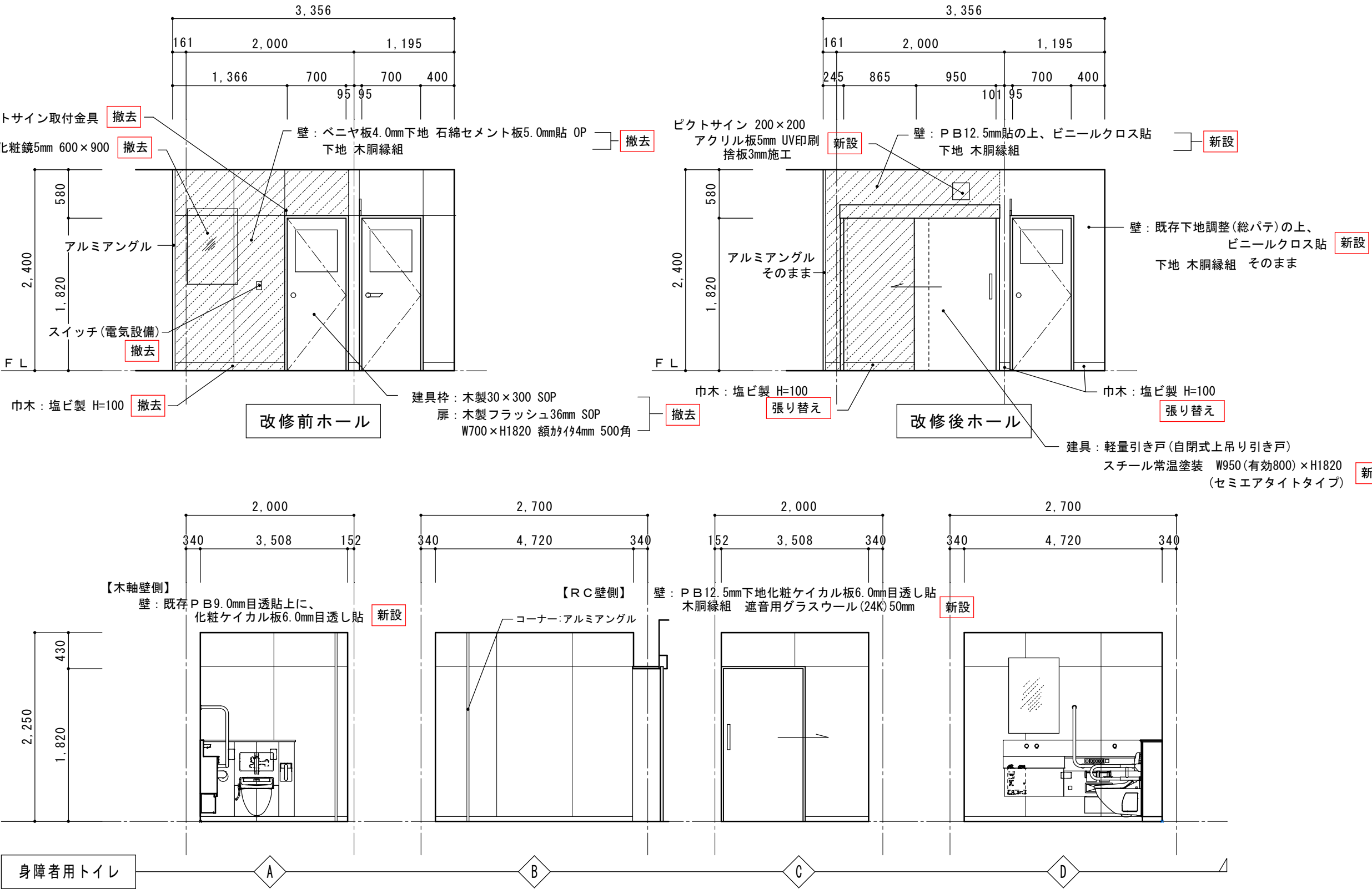
ディスクグラインダー フローチャート			天井：		使用材料程度	
(1) 事前調査及び処理計画 (2) 発注者に事前調査の結果等を説明 (3) 資材等の調達・搬入・点検 (4) 床材除去 (5) 床接着剤材除去 (6) 袋詰め (7) 清掃 (8) 産業廃棄物の運搬・処分 (9) 検査 (10) 記録 完了	(1) 事前調査及び処理計画 事前調査と処理計画及び処理計画書を作成する。		(7) 清掃 床面をHEPAフィルター付掃除機等で念入りに清掃する。		軽量引き戸	三和シャッター（株） セミアタイトタイプ 手動 戸袋無し 同等品以上
	(2) 発注者に事前調査の結果等を説明 事前調査結果と届け出内容を発注者へ説明する。		(8) 産業廃棄物の運搬・処分 ①石綿廃棄物は、仮保管庫に集積し収集運搬日まで保管する。 ②収集運搬車両は最終処分場又は積み替え保管場所まで直行する。 また、落下防止の処置を行うとともに盗難にも注意を払う。 ポリ袋の開封は絶対行わず、破れ等が生じた時は、速やかにテープ等で補修し、新たにポリ袋に密封する。廃棄物はポリ袋に入ったまま開封せずに埋立処分する。		現場発泡ウレタン	セメダイン ハイスパンフォーム-400 スプレータイプ 同等品以上
	(3) 資材等の調達・搬入・点検 ①安全衛生設備を調達し、事前に点検をする。 ②防護服、呼吸用保護具は国家検定等計画書に基づく作業レベルに応じたものを 予定作業者数より多くの数を準備し、フィルター及び交換備品の確認、点検を実施する。 ③使用資材、機材、安全衛生設備等は一時保管場所へ搬入する。 ④アスベスト処理作業中である事等の標識は、作業場内外からも周辺住民の見易い所に表示する。 事前調査結果は関係作業者のみならず、周辺住民にも見易い場所へ石綿規則第3条の規定等を掲示する。 ⑤処理作業現場外に休憩所を設置する。 夏期作業時には飲料水と塩を用意し、熱中症にも配慮する。		(9) 検査 工事記録を作成するとともに、発注者等に工事完了報告をして、完成検査を受ける。		ビクトサイン	SUGITA ACE シンプルビクトサイン(平付型) アクリルビクト F-4 200角 同等品以上
	(4) 床材除去 床材を湿潤後にスクレーパー等で除去する。		(10) 記録 作業者記録、作業等記録は、石綿障害予防規則 第35条により40年間保存する。			
	(5) 床接着剤材除去 集塵装置付きディスクグラインダーを用いて床面接着剤を研磨し除去を実施する。					
	(6) 袋詰め 集塵装置のダストバック等を回収し、アスベスト廃棄用透明ポリ袋で二重密封する。					

		KON 建築デザイン事務所		事務所登録番号 A 1 第 5 6 4 号		承認		設計		担当		縮 尺		工事名称 西北保健所身障者用トイレ改修工事		A-O	
				一級建築士登録番号 1 2 3 0 5 6 号		今 信次						設計年月日		図面名称 工事概要・内部仕上表・フローチャート・使用材料程度		No.	
				〒037-0044 青森県五所川原市宇元町47-6		TEL 0173 (34) 4505						R 0 7 . 0 9					





建 具 表									
符 号		5 WD		撤 去		1 LSD		新 設	
形 状									
使用箇所	箇所数	更衣室		1ヶ所		身障者用トイレ（セミエアタイトタイプ）		1ヶ所	
形 式	見込寸法	木製 両面フラッシュ戸		3 6		軽量引き戸（自閉式上吊り引き戸） 手動 戸袋無し		9 5	
硝 子	仕 上	カタイタ2mm		ポリ合板3mm				スチール0.8t 常温仕上塗装	
建具金物		丁番、空錠、ドアチェック				鎌錠(非常開十表示錠) 引(押)棒 (抗菌) 沓摺(チャンネル型)ステンレス			
備 考						標準金具セット 制動装置(制動装置本体) エンドストッパー			
						枠:スチール1.6t メラミン焼付塗装			



補強部材取付要領図

施 工 要 領

1. あと施工アンカー

□ 注意事項

- あと施工アンカーは、既存の柱・大梁のフープ及びスターラップ内に打ち込み、アンカー筋有効埋め込み長さはアンカー軸部径の 8 倍以上または製品メーカー指示長さとし、開口部は 倍以上とする。また、新設壁内のアンカー筋の定着長さは軸径の 30 倍以上とする。ただし開口部は 倍以上とする。
- 穿孔の際に鉄筋に当たった場合は、係員の指示のもとに旧孔の影響がない位置に再穿孔するか、鉄筋と干渉しないようドリルを傾けて（最大 15°）再穿孔する、この場合接着系カプセルは 2 本以上を重ね打ちとする。
- 穿孔及び埋込み途中でコンクリートのジャンカ（豆板）が確認された場合は、係員と協議の上、別の位置に再穿孔するか、樹脂注入等により補強を行う。
- アンカー筋布設後は傾斜等のみだれが生じないように養生筋等を配置すること。

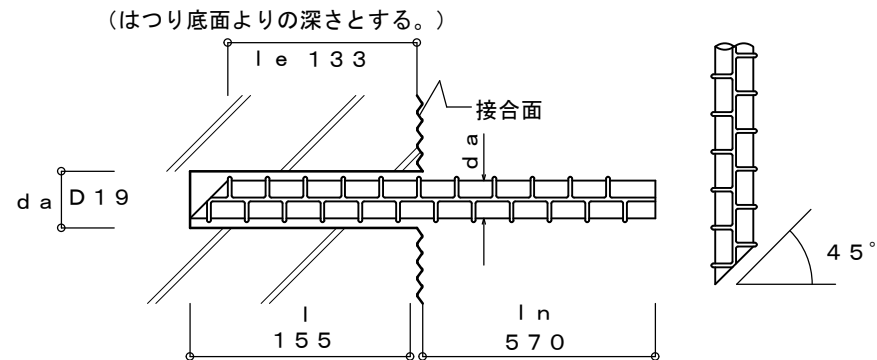
2. モルタル圧入

□ 注意事項

- エア抜きホース上部位置は、梁下端より 100mm 以上とする。エア抜きビニールホースの L 字部分の角度はビニールホースになまし鉄線を添えて確保する。
- 無収縮モルタルを圧入し、オーバーフローを確認後、ビニールホースを折曲げて、番線等で結束してモルタルの「流出」がないようにする。
- モルタルグラウト型枠取り外し時期については監督員の指示による。なお、参考図のスチール型枠による場合、圧入モルタルと既設コンクリートが十分一体化されたことが確認できれば上部梁下型枠を除いた 3 方の型枠は撤去しなくても良い。ただし、型枠は防錆塗装を行う。
- 無収縮モルタルの圧入順番は① 1カ所で行うものとする。
- 水抜き穴から無収縮モルタルの漏れが発生したらモルタル（速硬化性）でシールする。

アンカー筋の寸法及び先端形状

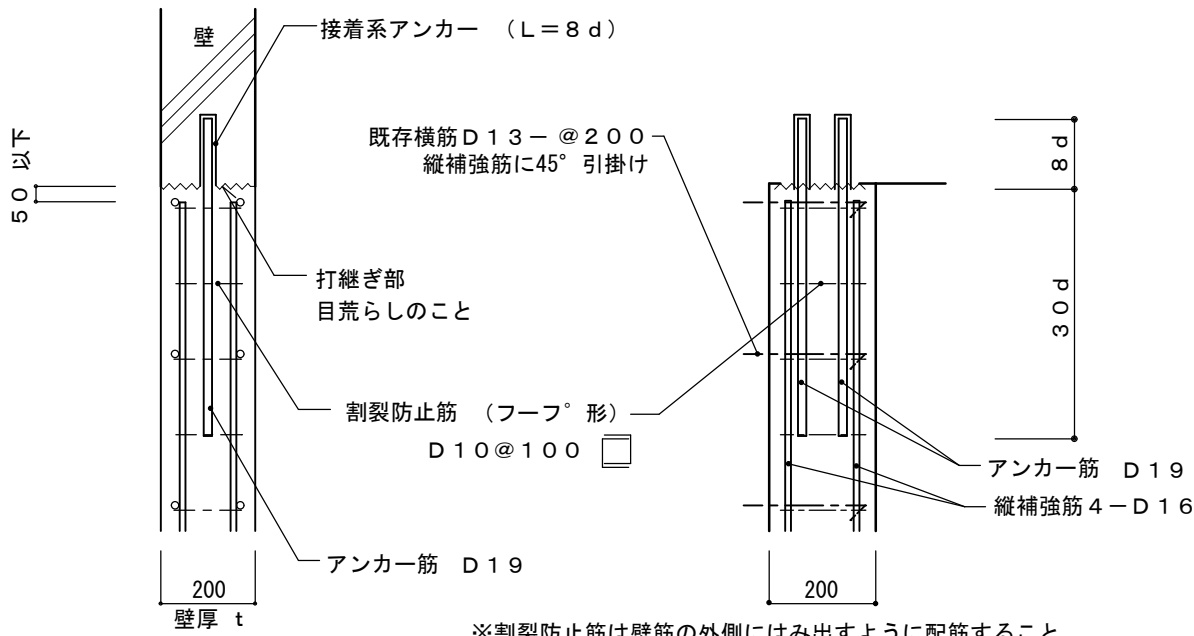
接着アンカリスト（材質 SD295A SD345）		
接着系アンカー	D16 用	D19 用
d a	D16	D19
l e	112	133
l n	480	570
l	130	155
D a	20	25



※アンカー筋は、施工により有効埋め込み深さが長くなることがあるので、アンカー筋実長に対し、若干長めに製作しておくこと。

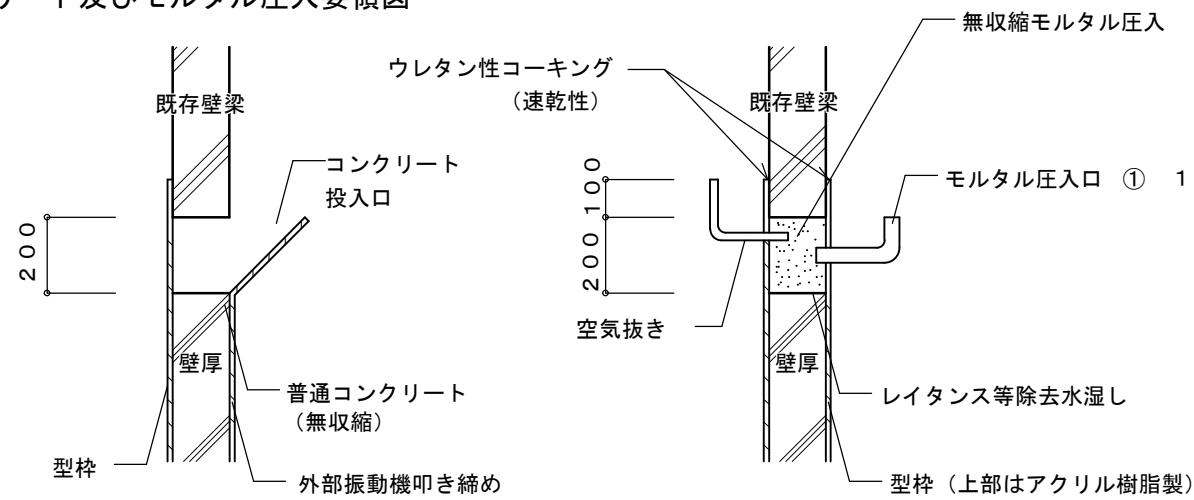
補強壁配筋要領図

新設壁



※割裂防止筋は壁筋の外側にはみ出すように配筋すること。

コンクリート及びモルタル圧入要領図

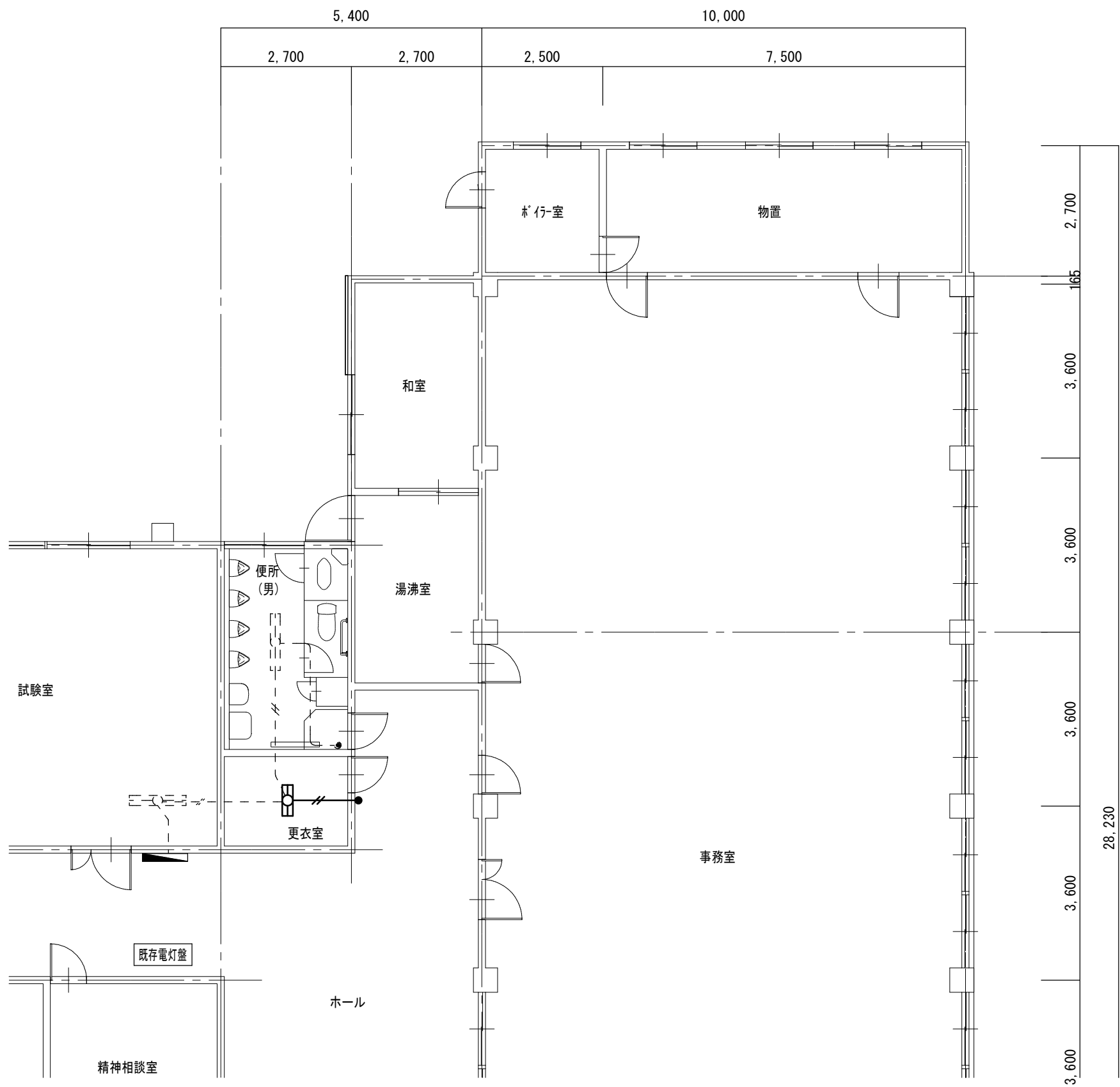


(1) 普通コンクリート打設要領

(2) 無収縮モルタル圧入要領

(1) による普通コンクリート施工後 (2) により無収縮モルタルを圧入する。

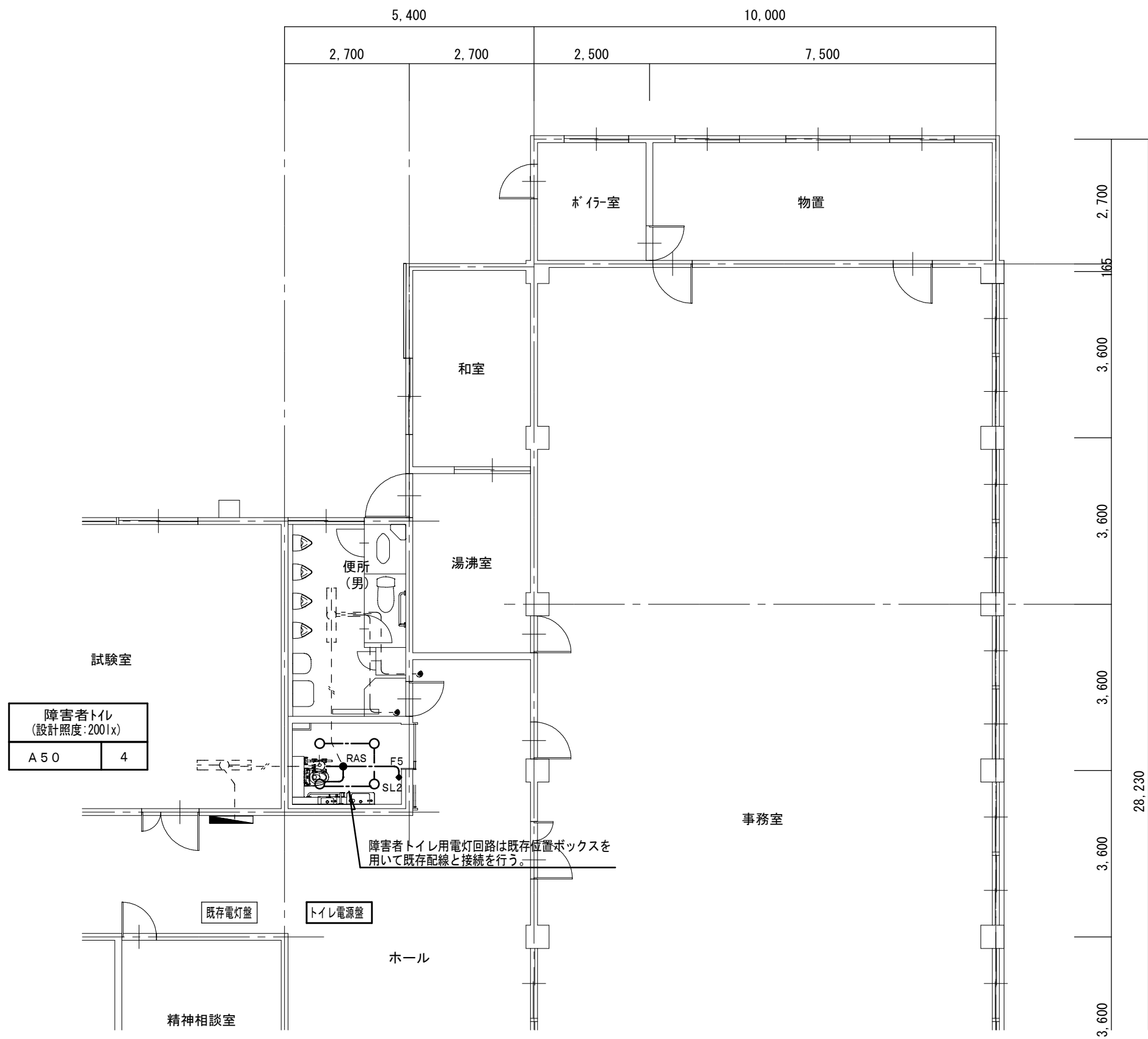
KON 建築デザイン事務所 事務所登録番号 A1第564号 一級建築士登録番号 123056号 今 信 次 〒037-0044 青森県五所川原市宇元町47-6 TEL 0173 (34) 4505			承認設計担当	縮 尺 A2:1/50 設計年月日 R07.09	工事名称 西北保健所身障者用トイレ改修工事 図面名称 建具表・展開図・開口補強施工要領	A-10 No.
--	--	--	--------	-----------------------------------	--	-------------



既存撤去電灯平面図 S=1/100

撤去機器凡例

図記号	名 称	
	既存電灯盤	既存そのまま
	照明器具 FL20W-2 露出形	撤 去
	埋込スイッチ 1P15A×1	撤 去
	IV 1.6×2 管路内	電線撤去 埋設配管そのまま



改修後電灯平面図 S=1/100

配管・配線凡例

注 記		
1. 特記無き配線配管は、下記による。		
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。		
		保護配管
	EM-EEF 1.6-3C	(PF16)
	EM-EEF 1.6-2C+3C	(PF22)
2. スイッチは全てネーム付とする。		

機器凡例

図記号	名 称
	電灯分電盤 (別図参照)
	天井取付形熱線式自動スイッチ 1.2A 換気扇接続端子付き、明るさセンサ付 検知後動作保持時間10秒～30分可変形 換気扇接続端子付
	埋込熱線センサ用自動スイッチ付操作ユニット(2回路用) プレート共 取付高は、プレート上部をドア枠上部と高さを合わせる事。
	天井埋込型換気扇 (別途機械設備工事)

A50	LEDダウンライト (LRS1-05-LN)	埋込開口 φ100 8VA以下
-----	---------------------------	--------------------

KON 建築デザイン事務所

事務所登録番号A1第564号

一級建築士登録番号123056号 今 信次

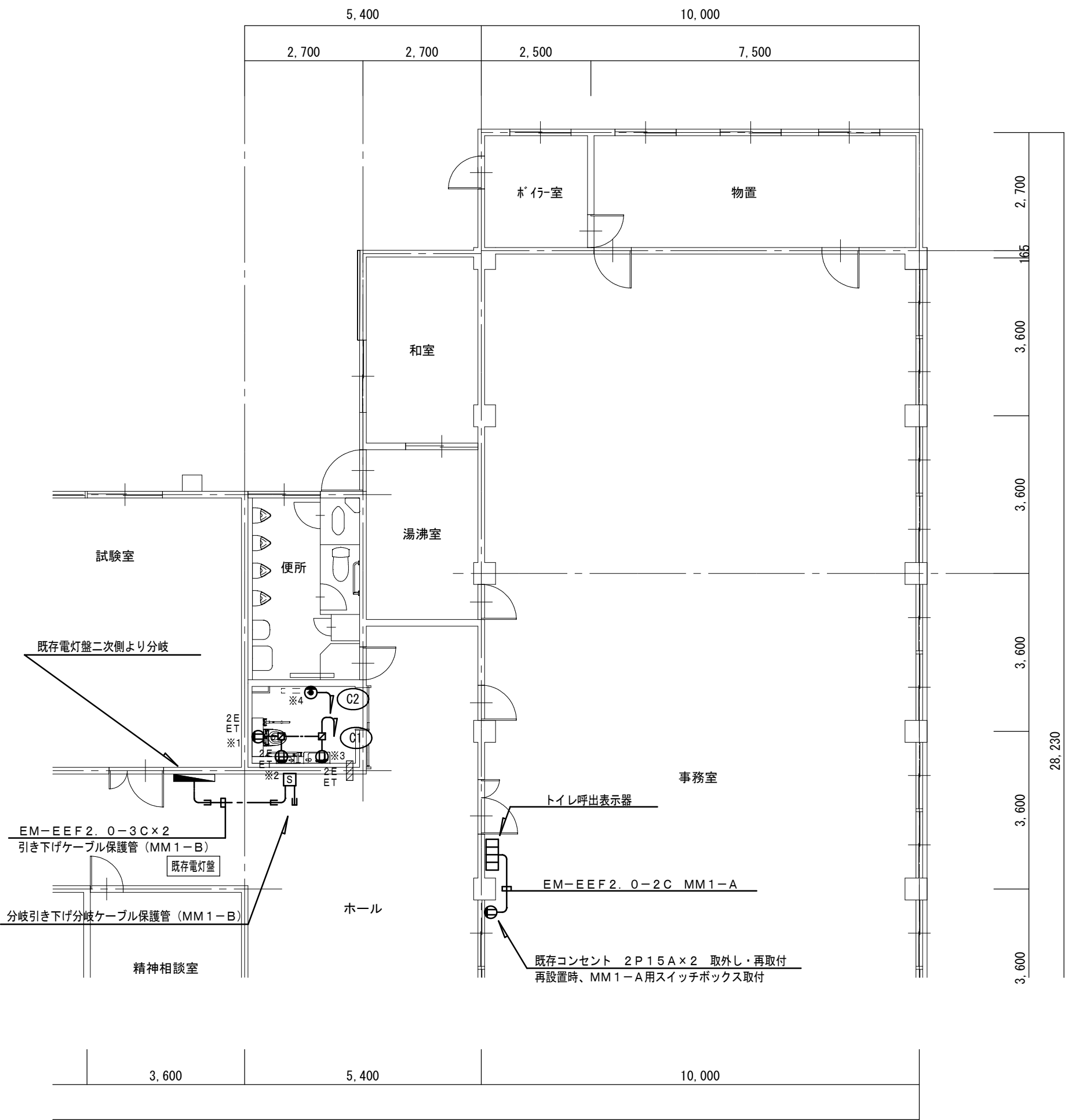
〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

承認	設計	担当

縮 尺
A2:1/100
設計年月日 R07.09

工事名称	西北保健所身障者用トイレ改修工事
図面名称	撤去・改設 電灯分岐配線図

E-02
No.



電灯幹線・コンセント分岐配線図 S=1/100

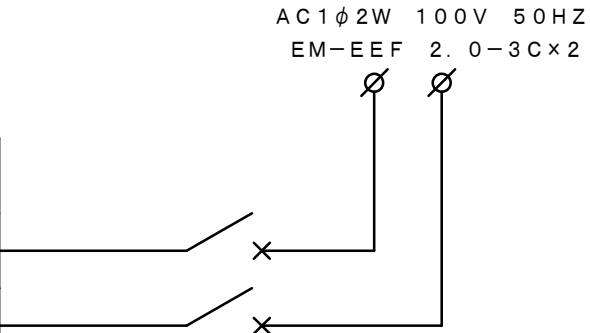
記 号	名 称	定 格
S	トイレ用手元開閉器（一般型）	ELCB 2P30AF-2個
① 2E ET	壁付コンセント	2P15A接地極付×2 及び接地端子
■	ジョイントボックス	OB 中深・C付
●	入線プレート	角形・新金P共
▨	はつり工事	厚200 φ50

配管・配線凡例

注 記
1. 特記無き配線配管は、下記による。
ケーブルの立上り引下げは電線管にて保護すること。
EM-EEF 2.0-3C 保護管 (PF22)

- ※1 洋風便器
- ※2 手洗い器用電源
- ※3 洗面器用電源
- ※4 電気パネルヒータ
- 1φ100V 500W
- 1φ100V 10W
- 1φ100V 10W
- 1φ100V 500W

負 荷 容 量	負 荷 名	遮断器 (電圧)	回路 番号
520	洋風便器・手洗い・洗面台用	ELCB 2P20AT (100V)	C1
500	パネ ル ヒ ー タ	ELCB 2P20AT (100V)	C2



トイレ用手元開閉器 単線結線図

承 認	設 計	担 当

縮 尺
A2:1/100
設計年月日
R07.09

工事名称	西北保健所身障者用トイレ改修工事
図面名称	電灯幹線・コンセント分岐配線図、電源盤単線結線図

[illegible]

項目

特記事項

○14. 消音内貼り

○15. 緊急遮断弁

○16. 注油口及び指示ボックス

○17. カセット形ファンコイルユニット(風量分配ダクト)

○18. 温水パネルヒーター

○19. 電気パネルヒーター

●1. 準拠事項

○2. 開放形湯沸器用排気フード

○3. 厨房用排気ダクト

○4. 厨房用排気フード

○5. 多温箇所の排気ダクト

○6. 保温

●7. 換気扇類

●8. 給排気口

○1. ダクト

○2. 排煙口の形式

○3. 排煙口の形式

○4. 排煙風量測定方法

○1. システム構成その他

○2. 計装用配線

○3. 電動弁

○4. 弁耐圧

○5. その他

●1. 衛生器具ユニット

●2. 身障者用洗浄弁

●3. 大便器用便座

●4. 注記板

○1. 量水器

○2. 量水器樹

○3. 弁類

○4. 不凍水栓柱

吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは図示による。
オイルサーピスタंकに設置する緊急遮断弁は、停電時に閉じるものとする。
○単独形 ○共用形(○油量指示計 ○ローリーアース)
※ 亜鉛鉄板
○自己消火性のポリスチレンフォーム製
○銅板製 ○アルミ製 ○
(1) ケーシングはステンレス製とする。
(2) 便所に設置する場合は、いたずら防止カバー付とする。

「空調調設備の当該事項に準ずる。」
●ダクト ○風量測定口 ○ダンパー ○チャンパー ○塗装
○既設 ○改設(○別途 ○本工事)

アングルフランジ工法とする。
既設 ○亜鉛鉄板
改設 ○亜鉛鉄板
○ステンレス鋼板(SUS304)
(板厚は衛生器具表空調1の厨房排気ダクトの板厚表による)

既設 材質(天幕とも)
○ステンレス鋼板(SUS304) ○
フード周囲の天幕(フード面から天井面まで)
○有 ○無
改設 材質(天幕とも)
○ステンレス鋼板(SUS304) ○
フード周囲の天幕(フード面から天井面まで)
○取り付け ○取り付けない
フードコック
○取り付け ○取り付けない

イ) 厨房系統、浴室(シャワー室、脱衣室を含む)系統のダクトのシールは「標準図」シールの施工例(一)、(二)のNシール+Aシール+Bシールとする。
ロ) 水抜き管 ○要 ○不要
全熱交換器(空調換気扇)の外気取入れダクト(OA)、給気ダクト(SA)及び排気ダクト(EA)は全て保温とする。
換気扇類は低騒音形以上とし、有圧換気扇は保護ガードとする。
外壁に設置するベントキャップ、ウェザーカバー等には、給気用に防虫網、排気用に防鳥網を取り付ける。

○5. 給水栓

●6. 保温

○7. 小形給水ポンプユニット

○8. 水槽

○9. 壁埋込形散水栓ボックス

○10. 引込納付金等

●11. その他

○1. 満水試験継手

○2. 台所流し等の排水管

○3. インパート樹

○4. ため樹

○5. 樹脂製樹

○6. 雨水樹

○7. グリース阻集器

○8. 間接排水

●9. 試験

○10. 放流納付金等

○11. その他

○1. 弁類

○2. 保温

○3. 貯湯槽

○4. 貯湯式電気温水器

○5. 湯水混合栓

○1. 親メーター

○2. 子メーター

○3. ガスポンベ

○4. ガス漏れ警報器

○5. 埋設深さ

○6. 緊急遮断弁

○1. 熱調理器の熱源

○2. 厨房機器類

○3. 厨房システム

○4. 付属制御盤

○5. 付属品(弁類)

イ) 屋内(○一般水栓 ○耐寒水栓 屋外(○耐寒水栓 ○一般水栓)
ロ) 湯沸器、台所、厨房用水栓は泡沫式とする。
ハ) 耐寒水栓はJWWAの認証品とする。
イ) 屋外露出管(弁、フランジを含む)の保温は、標準仕様書第2編3.1.4表2.3.5・e2・(ハ)とし厚さは呼び径25mm以下は50mm、呼び径32mm以上は40mmとする。
ロ) 量水器樹内の保温
※ 行う ○行わない
(1) 自動交互並列運転とする。
(2) 24時間強制ローテーション機能: ※付加する ○付加しない
(1) FRP製タンクのタンク天板(点検用蓋を含む)
※ 複合板 ○複合板としない
(2) タンク接続用配管のフレキシブル継手は合成ゴム製とし、水槽用鋼製架台は溶融亜鉛めっき仕上げとする。
(3) 吐水配管(受水槽)の給水用緊急遮断弁
※ 設けない ○設ける
(1) SUS製とし、鍵付とする。
○要(○本工事 ※別途) ○不要
給水管の最小口径は20mmとする。ただし、器具接続部分を除く。

図示の位置に取り付ける。
台所流し等の床上露出部分の配管はビニル管(RF-VP)でもよい。
※ 樹脂製樹(小口径樹)
○コンクリート製樹: ○国土交通省仕様樹
○頂部補強を施した市販重ね樹
○日本下水道協会規格樹
○樹脂製樹
※ コンクリート製樹: ○国土交通省仕様樹
○頂部補強を施した市販重ね樹
○日本下水道協会規格樹
樹脂製樹(小口径樹)は、プラスチック・マスマンホール協会及び日本下水道協会規格に準ずる。
雨水排水用ため樹は、配管エルボによるトラップ樹とする。
(1) 工場製作品で実用量が1.0m3以下のもの
※ ステンレス鋼板製 ○FRP製
(2) 設置箇所は図示による。
次のものは間接排水とする。
(1) 排水管は満水試験を行い、衛生器具等の取付け完了後に通水試験を行う。
煙試験: ※ 行わない ○行う
○要 (○本工事 ※別途) ○不要
別途、工場製作の流しのトラップは別途工事とするが、接続は配管(硬質塩化ビニル管でもよい)とし、本工事とする。

給水設備の当該事項による。
湯沸器の給排気筒(二重管)の隠べ部保温を行う。
(保温の種別は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5・h・(イ)・Ⅹとする)
ステンレス鋼板製 ○SUS304 ○SUS304L ○SUS316 ○SUS316L
○SUS444
(1) 過熱タイマー: ※ 取付ける ○取付けない
(2) 制御盤の節電機能: ○組み込む ○組み込まない
逆止弁機能: ※ 有り ○無し
※ シングルレバー式 ○サーモスタート式 ○2バルブ式

既設 ○易操作性1号消火栓 ○2号消火栓
既設 ○易操作性1号消火栓 ○2号消火栓 ○広範囲型2号消火栓
※10K
外面被覆鋼管の呼び径100A以下はねじ接合とする。
イ) 充水タンクの保温 既設 ○有 ○無
改設 ○要 ○不要
なお充水タンクの保温は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 鋼板製タンクの項による。
ロ) 消火配管の保温 既設 ○有 ○無
改設 ○要 ○不要
なお消火配管の保温は標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項による。
ハ) 屋外露出管については給水管に準ずる。
○ステンレス製 ○鋼板製
(1) 連結送水管に取付ける弁は16Kとする。
(2) その他の弁: ※ JIS10K ○JIS20K

○実測式 ○パルス式 ○貸与品
○実測式 ○パルス式 ○買取り
貸与品(○50kg 本)
イ) 集合装置 ○「標準図」液化石油ガス容器裡り配管要領による 本立て
ロ) 転倒防止等 ○「標準図」液化石油ガス容器転倒防止施工要領
(○a) ○b
○容器固定具をGL+300に追加設置する。
○本工事(図示の箇所に取付ける)(○分離形 ○一体形) ○別工事
外部出力端子 ○有 ○無
イ) 一般敷地内
ロ) 敷地内車道通行部分
(m以上)
(m以上)
※ 取付けない
○取付ける(ガス漏れ警報機と連動して作動するものとし、系統は図示による)

既設 ○ガス ○電気
改設 ○ガス ○電気
イ) 仕様、性能等は図示による。機器の寸法は省略寸法とする。
ロ) 厨房機器据付け要領は「標準図」厨房機器据付け要領による。
※ ドライシステム ○ウェットシステム ○セミドライシステム
機器付属の制御盤は、製造者規格品とする。
JISB2011:2003又はJV同等性性能品 ○5K ※10K

○1. システム構成その他

○2. 量水器

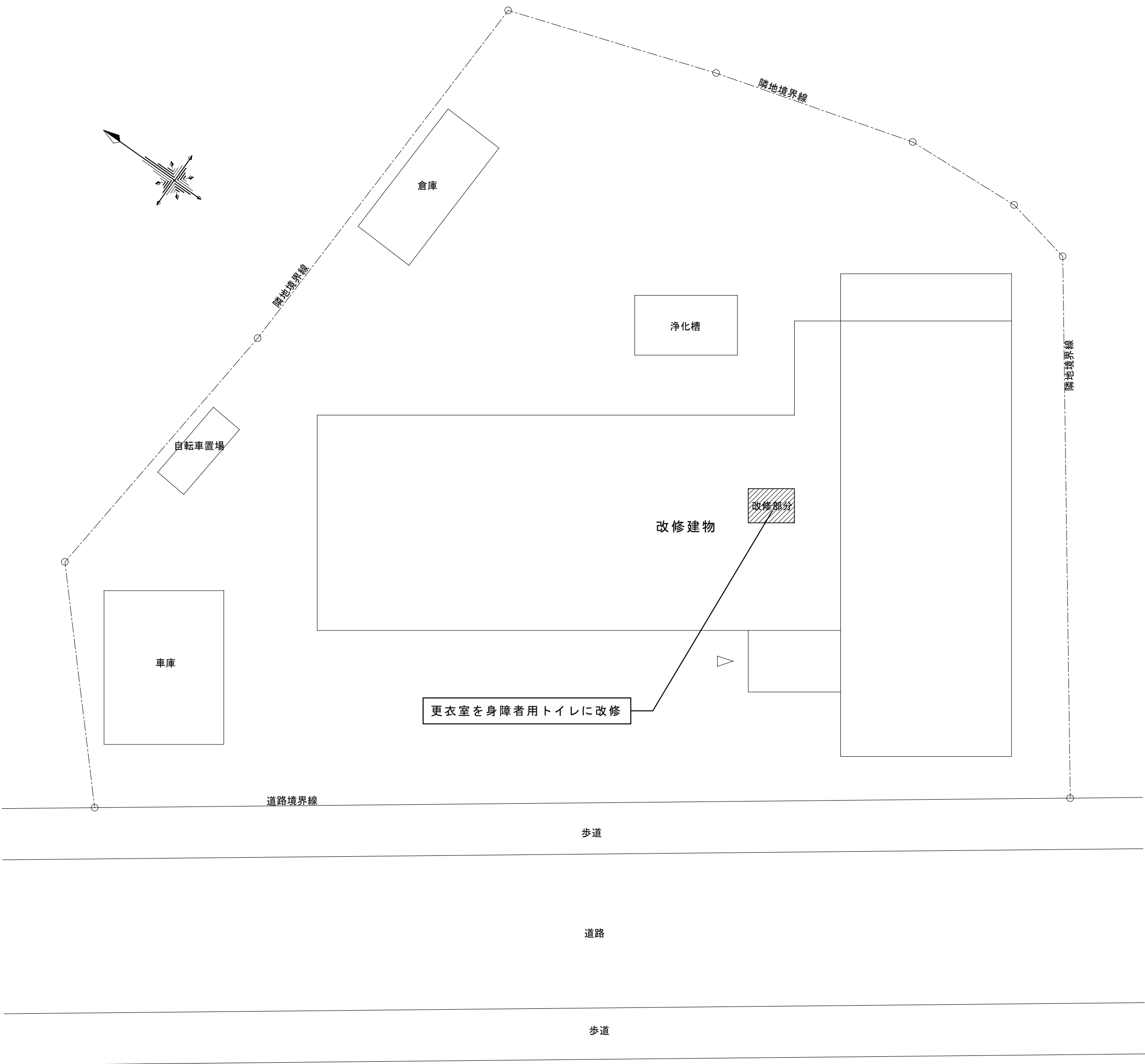
○3. 弁類

○1. 特記事項

○アスベスト含有製品処理

別図による。
○バルブ式 ○直読式
図面に特記なき場合は、JIS又はJVS-Kとする。
※ 果が別に定める仕様書による。
○下記による
(1) 処理能力
対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上
(2) 流入負荷
汚水量 m3/日 BOD濃度 mg/L
(3) 処理方式
○小規模合併処理
(告示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は建築基準法施行令第35条1項の大臣認定)
○合併処理(告示区分第2、第3、第6の処理方式)
(4) 主要構造
○ユニット形(FRP製) ○現場施工形
設置スペース 約 L x W
(5) 総電気容量
相 x V x kW
(6) ばっ気槽用送風機
イ) 屋外に設置する送風機はカバー付とし、コンクリート基礎上に設置する。
ロ) 送風機にはケーブル(ビニルキャブタイケーブル)を約 m付属する。
ハ) 送風機を2基設置する場合タイマーによる自動交互運転とする。
(7) 流入側
イ) 流入管底 設計GLー m
ロ) 浄化槽本体への自然流下方式(必要な場合はポンプアップ方式とする)
(8) 放流側
イ) 浄化槽本体よりの自然放流可能管底 設計GLー m
ロ) 浄化槽本体よりの自然放流方式(必要な場合はポンプアップ方式とする)
(9) 排気管及び排気口
構造上不要な場合は設けない。
(10) ポンプ
(11) 制御盤
○製造者標準品 ○標準仕様書による
(○漏電・過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける)
(12) マンホール
○製造者標準品安全荷重(○5 ○15 ○50kN 以上とする)
○「標準図」マンホールふた(OMHB OMHA OMHD)
(13) 装置耐荷重
耐荷重はマンホール安全荷重による。
(14) 土工事
イ) 基礎杭 ○要(○本工事 ○別途) ○不要
ロ) 基礎コンクリート ○要(○本工事 ○別途) ○不要
ハ) 根切り ○本工事 ○別途
ニ) 埋戻し ○本工事 ○別途
ホ) 躯体(現場施工の場合) ○本工事 ○別途
ヘ) 山留め ○要(○本工事 ○別途) ○不要
ト) 水替え(自然水位GLー m) ○要(○本工事 ○別途) ○不要
チ) 残土処分 ○構外搬出 ○敷き均し
(15) 消毒剤
30日分を納入する。
(16) 水質表示等の提出
一定期間定常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。
(17) フローシート
合成樹脂製パネル(厚さ5mm以上、文字は影り込み)を取り付ける。
(18) 消泡装置
ノズル式又は消泡剤式とする。

○本工事
ダクト及び配管のフランジパッキン及び配管エルボ・チーズ部の保温材の処理方法は以下による。撤去するフランジ部、エルボ・チーズ部に含まれる石綿を処分するため、フランジ、エルボ・チーズの前後を切断し、他のダクト・配管とは別に廃棄を行う。
※ 配管、ダクト以外の解体方法は関連する官公署、石綿作業主任者などに確認し法令に従い適切に処理を行うこと。
アスベスト含有部材を撤去・取り外しを実施する場合の施工要領(参考)
フランジ部撤去詳細図
石綿含有フランジパッキン
ダクト切断部
石綿含有フランジパッキン
配管切断部
約100 約100 約100 約100
1. 切断にあたり飛散防止処置として、フランジ部を飛散抑制剤の塗布又はテープ貼を行う。
2. フランジ部両側約100mmの箇所において慎重に切断する。
3. 片側の切断終了後、フランジ部内部を外面同様



配置図 S=1/200



付近見取図

KON 建築デザイン事務所

事務所登録番号 A 1 第 5 6 4 号

一級建築士登録番号 1 2 3 0 5 6 号 今 信 次

〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

承認	設計	担当	

縮 尺

A2: 1 / 1 0 0

設計年月日

R 0 7 . 0 9

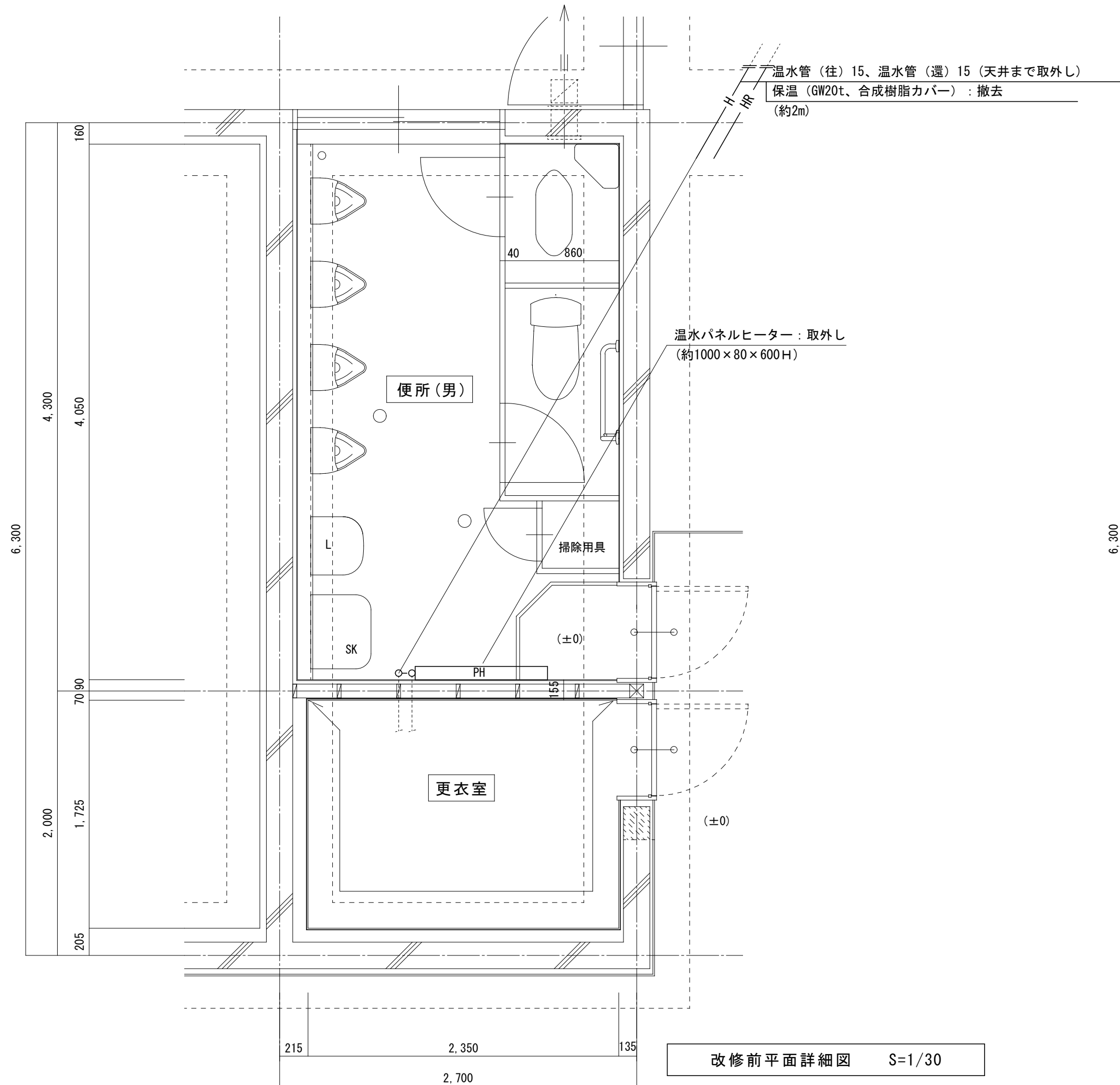
工事名称

西北保健所身障者用トイレ改修工事

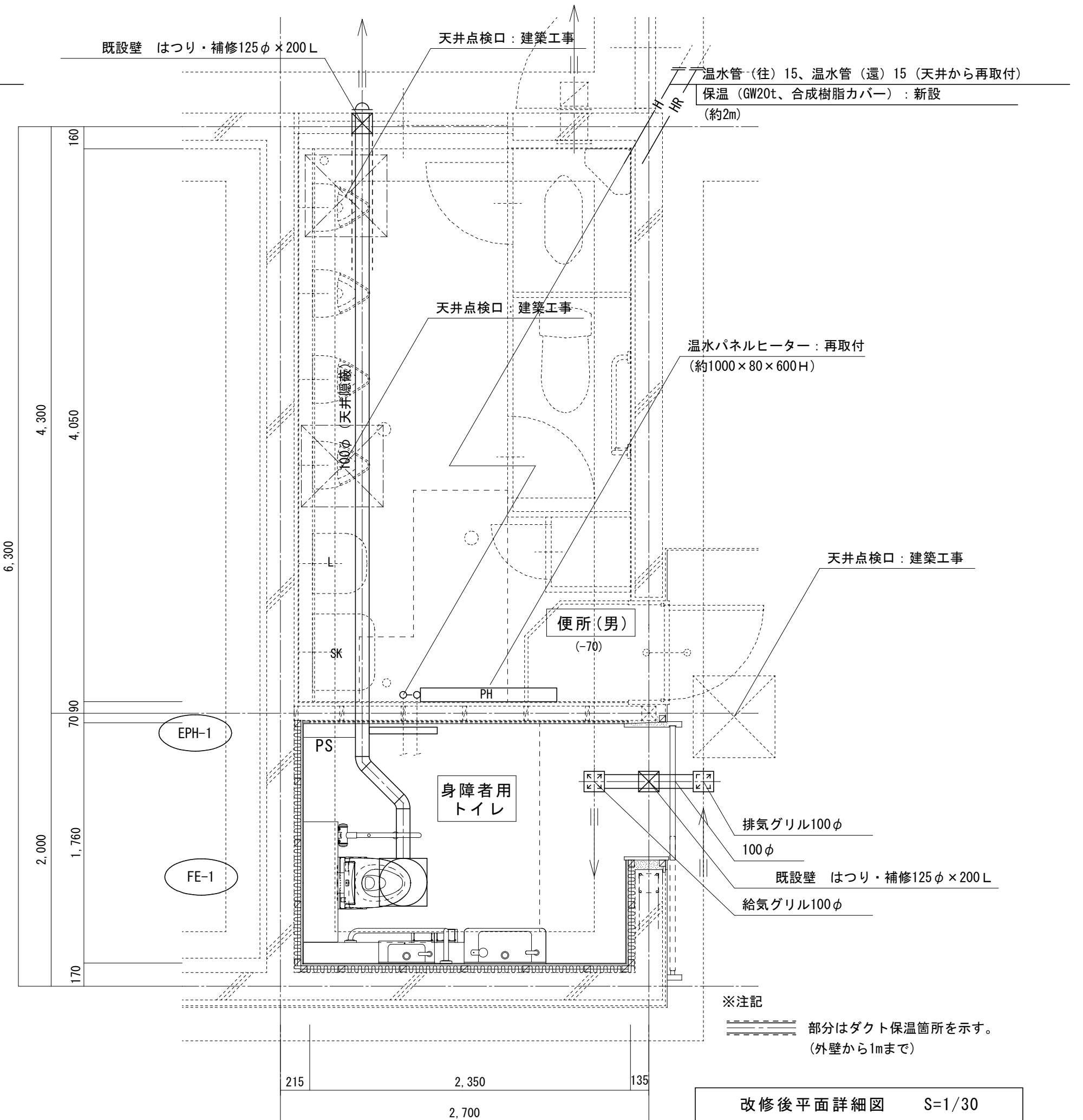
図面名称

案内図・配置図

機器表〔改修後〕

[illegible]

改修前平面詳細図 S=1/30



改修後平面詳細図 S=1/30

KON 建築デザイン事務所 事務所登録番号 A 1 第 5 6 4 号
一級建築士登録番号 1 2 3 0 5 6 号 今 信 次
〒037-0044 青森県五所川原市字元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

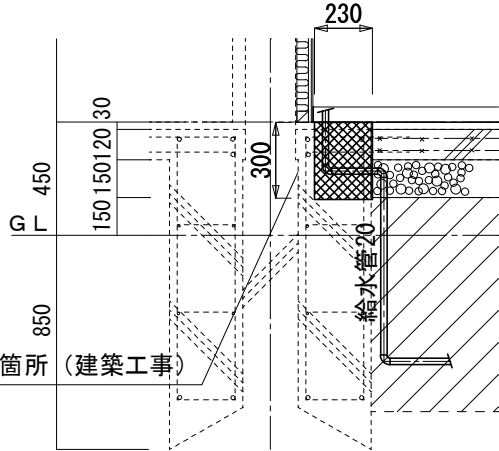
承認	設計	担当

縮 尺	A2: 1 / 3 0
設 計 年 月 日	R 0 7 . 0 9

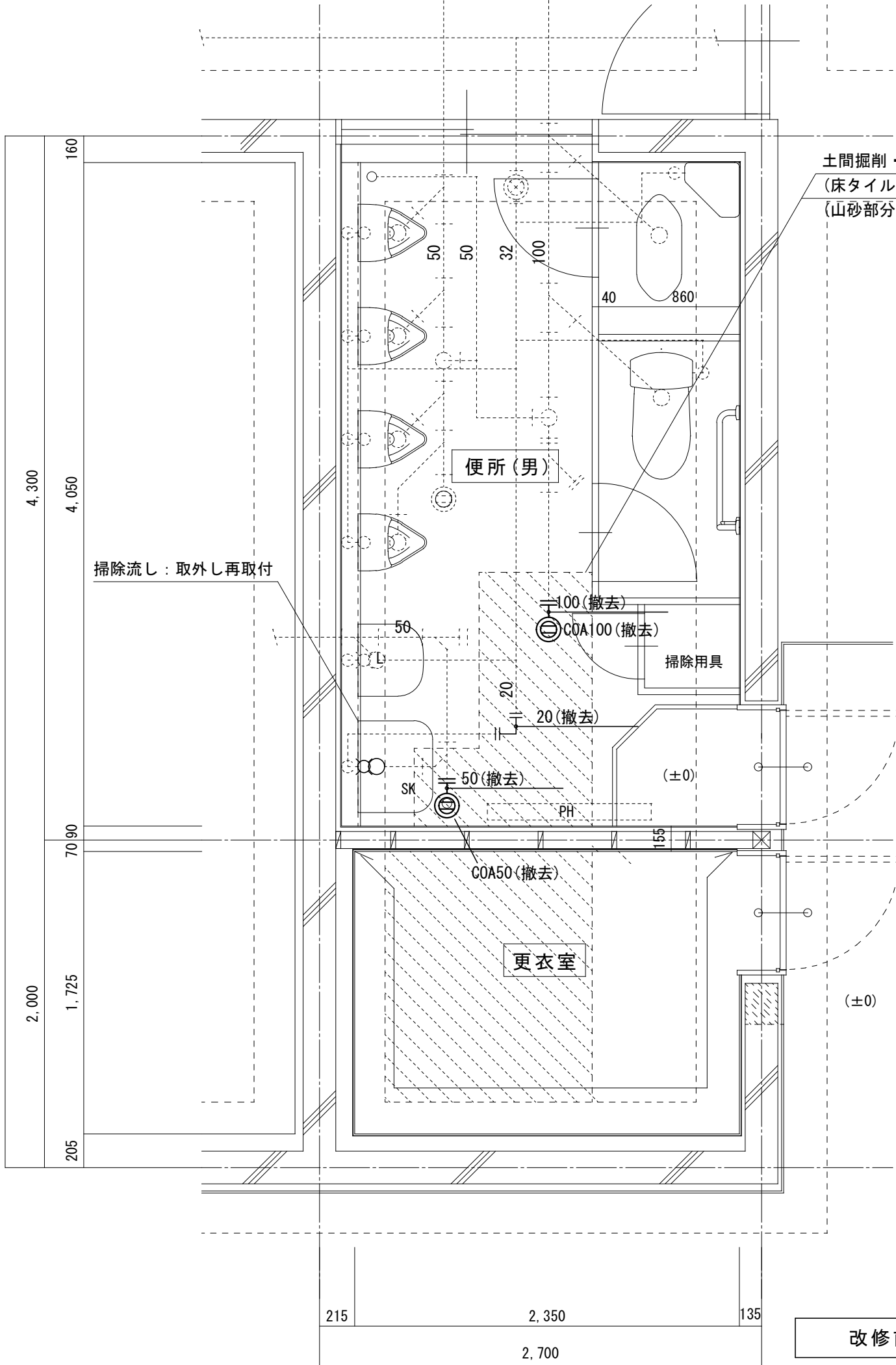
工事名称	西北保健所身障者用トイレ改修工事
図面名称	暖房・換気設備 機器表・平面図（改修前・後）

衛生器具表 (改修後)

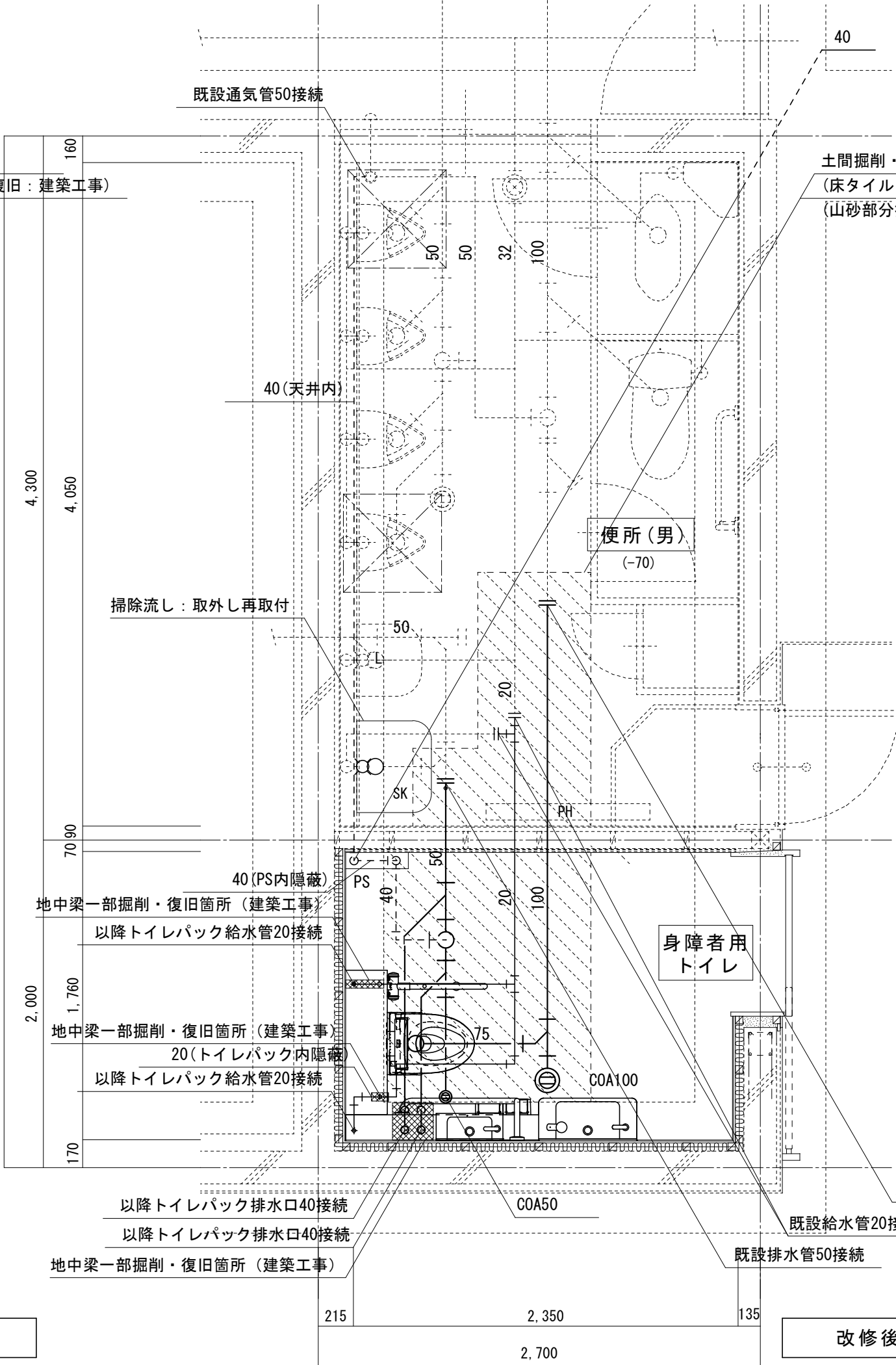
名称	仕様	身障者用 トイレ	数 量	備 考
多機能トイレバック	床置大便器（ロータンク）、暖房洗浄便座（貯湯式、便座蓋ナシ）	1	1	(1φ×100V×500W以下)
	棚付二連紙巻器、洗面器(自動水栓)、手洗器（自動水栓）			
	チャームボックス、水石鹸入れ、化粧鏡			
	他標準付属品共			



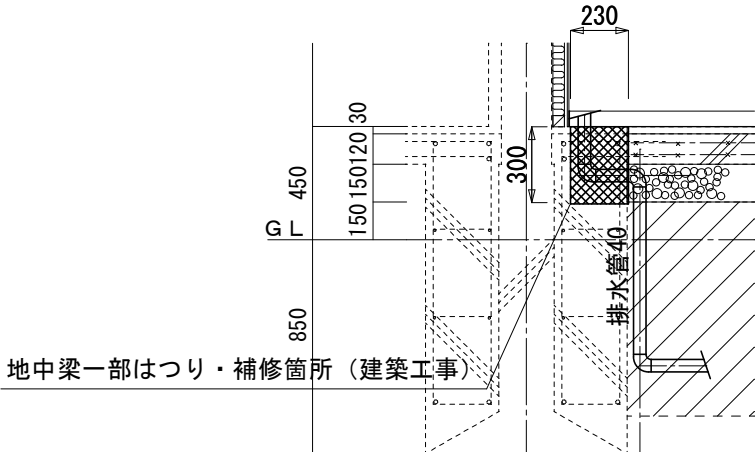
改修後部分断面詳細図 (給水管) S=1/30



改修前平面詳細図 S=1/30



改修後平面詳細図 S=1/30



改修後部分断面詳細図 (排水管) S=1/30

KON 建築デザイン事務所

事務所登録番号 A1第564号

一級建築士登録番号 123056号 今 信次

〒037-0044 青森県五所川原市宇元町47-6 TEL 0173 (34) 4505

承認 設計 担当

縮 尺

A2: 1/30

設計年月日

R07.09

工事名称 西北保健所身障者用トイレ改修工事

図面名称 衛生設備 器具表・平面図 (改修前・後)

M-5

No.